

2025年度 銚田市立銚田南中学校グランドデザイン

本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン

基本理念 「活力があり、県民が日本一幸せな県」

Ⅲ「新しい人材の育成」

茨城県の未来をつくる「人材」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します

銚南にじいるコミュニティスクールの目標

世代をつなぎ、地域をつなぎ、未来への架け橋となる銚田南の子供たち

校訓

「個性伸長」

「自主自律」

「研究創造」

「堅忍力行」

銚田市の教育目標

「夢と希望をもち、未来を拓く心豊かな人づくり」

- ・ひとりひとりの知性を磨き、夢の実現に向けて努力する態度を育てる
- ・互いの人格を尊重し、共に支え合う豊かな心をはぐくむ
- ・心身共に健康で、たくましく生きる力をはぐくむ
- ・郷土を愛し、勤労と責任を重んじ、国際社会に貢献する態度を育てる

教育目標

- 確かな学力を身に付けた創造力豊かな生徒を育てる
- 豊かな情操と愛校心に満ちた生徒を育てる
- 心身ともに健康でたくましく生きようとする生徒を育てる

目指す生徒像

- ・予測困難な未来に向けて、自分で課題を見つけ、解決方法を考え、最後まで粘り強くやり抜く生徒
- ・友達と考えを伝え合い、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒
- ・将来を見据え、自分の可能性を信じて自己肯定感を高められる生徒

学校経営の重点

- 1 「探究的な学び」を基盤として、課題に対してより良い解決方法を考え、答えを探り、自覚した「気付き」をアウトプットできる学びの展開を図る。
 - 銚田市授業スタイル2ndをベースにした授業改善
 - 学習意欲の持続に向けた課題設定の工夫
 - 協働的な学びと個別最適な学びのハイブリッド化
 - 数学科・英語科における習熟度別学習の実施

【数値目標】 授業では、自分で考え、自分から学習に取り組むことができる。

3. 39(R5)→3. 47(R6)→3. 55(R7) [学習及び学校生活アンケートから]
- 2 特別活動・キャリア教育において、生徒が意見を発表したり対話や議論したりする機会を充実させることにより、自己肯定感・自己有用感を高め、適切に自己決定できる生徒を育成する。
 - 学級活動、生徒会活動の計画的実施
 - アントレプレナーシップ教育の推進
 - 部活動運営方針に則った部活動の実施
 - 生徒同士がお互いに認め合い、活躍できる場の創出

【数値目標】 あなたの学級では、学級会などの時間に、自分たちで決まりなどを決めることができるようにしている。

3. 48(R5)→3. 57(R6)→3. 62(R7) [学習及び学校生活アンケートから]

目指す教師像

- ・人間性豊かで、高い使命感のもと教育実践する教師
- ・生徒の多様性を理解し、一人一人に寄り添う教師
- ・授業改善に向け研修を重ね、より良い学びを目指す教師
- ・使命感に燃え、やる気と情熱をもった教師
- ・生徒・保護者・地域から信頼され、憧れ慕われる教師

グループ目標(国語部)
言葉による見方・考え方を働かせ、気付きを活かすことで自分の考えを深められる指導方法の工夫

グループ目標(社会部)
社会的事象から課題を見出し、他者と比較、分類しながら自己の考えを表現する学習活動の充実

【組織目標】「生徒の気付き」を生かす授業を展開する
○個別最適な学びと協働的な学びを関連させた授業展開
○自己決定の場の多い授業の展開

取組の視点:①授業づくり ②環境づくり ③校務分掌

グループ目標(数学部)
数学的活動を通して数学の良さに気付き、活かすことのできる授業展開

グループ目標(理科部)
目的意識をもって観察、実験を行い、実感を伴った理解を図る授業展開

グループ目標(英語部)
コミュニケーションを行う目的や場面、状況を理解し、生徒同士で気付き合う授業

グループ目標(音楽部)
生徒の気付いた音楽の良さから、表現する一連の過程を充実させた授業の工夫

グループ目標(美術部)
自らの表現、鑑賞の変化に気付き、達成感・充実感を得られる学習の工夫

グループ目標(技家部)
生活の中の気付きから問題を見だして課題を設定する授業の展開

グループ目標(体育部)
振り返りを通して自他の課題に気付き、具体的な改善方法を見いだすことのできる授業展開

グループ目標(特支部)
参加している実感・達成感をもたせる交流及び共同学習の充実

グループ目標(4年部)
「生徒の気付き」を活かす授業づくりに向けた環境整備の推進

すべての子供の可能性を引き出す活力ある学校づくり

地域に開かれた学校づくり

- ・各種たより、HPIによる情報発信
- ・学校評価結果の公表
- ・関係機関、団体と連携した学習活動
- ・銚南にじいるコミュニティスクールとの連携

働きやすい職場づくり

- ・風通しのよい環境づくりの推進
- ・協働による同僚性の構築の推進
- ・「働き方改革実行委員会」を中心とした働き方改革の推進(目標→45時間超の職員0)

教員の資質能力向上

- ・生徒主体の授業へ授業改善の推進
- ・1人1回以上の授業研究の実施
- ・自己申告書を活用した教員評価の充実
- ・資質の向上に関する指標を活用した研修

小中連携

- ・9年間を見通した指導体制づくり
- ・教員間、児童生徒間の交流の推進
- ・中学校スタートカリキュラムの充実

【令和7年5月1日現在】